

～こんな時だからこそ本を読もう～

新しい年度が始まって1か月経ちましたが、新型コロナウイルスによる影響で、学校も休校になり、毎日家で過ごしていることと思います。こんな時だからこそ、1日の予定の中に「読書の時間」を作ってはどうでしょうか。読書をする事で、自分自身の人生のヒントを見つけたり、主人公の気持ちに寄り添うことによって得られるバーチャルな体験が自分自身の心の糧になったりすると思います。読書をしたければ手に本がない、という人は「青空文庫」で本を読んでみるのもいいかもしれません(下記参照)。

本校図書館の蔵書は約30,000冊、それに加えて、毎年皆さんのリクエストに応え、新しい本もたくさん購入しています。季節ごとに様々なテーマで、本を展示しています。また、今後、図書委員会が恒例の購入希望図書の調査を行う予定なので、買って欲しい本、読んでみたい本を考えておいてください。残念ながら、現在は新型コロナウイルスの影響で図書館に足を運ぶことができませんが、学校が再開したらぜひ訪れてみてください。みなさんをお待ちしています。

※「青空文庫」<https://www.aozora.gr.jp/>

青空文庫は、著作権が切れたり、著者が許諾した作品が1万5千以上収録されているインターネット上の電子図書館で、誰でも無料で読むことができます。芥川龍之介や夏目漱石など有名作家の作品も多数含まれています。公開されているのはテキストですが、紙の本のように縦読みできるアプリも各種公開されています。利用してみてください。

◎図書館の先生からのおすすめ本 ☆はにしおつ図書館にあります

「知彼知己者、百戦不殆(孫子)」ウイルスに勝つには、ウイルスを知ることが大事だと思います。そこで、

●『ウイルスってなんだろう』岡田吉美 著 (岩波ジュニア新書) ☆

ウイルス発見の歴史からその構造や感染のしくみ、ウイルス病対策に至るまで平易な言葉でたいへんわかりやすく書かれています。ウイルスについて知るには、まずはこの1冊からという本です。



もう1冊は、

●『パンデミックとたたかう』押谷 仁・瀬名秀明 著 (岩波新書) ☆

2009年に発生した新型インフルエンザ・パンデミックの直後に出版された感染症の専門家と作家に

よる対話篇です。怖いくらいに今回の新型コロナウイルス禍に当てはまります。「適切に恐れる」「想像力を働かせる」「プロアクティブに対応する」など、今、我々はどのように行動すべきか、極めて示唆に富む内容です。

ウイルスについては、『生物基礎』の教科書(p.31)にも詳しく載っています。今一度勉強してください。
(図書視聴覚部長・理科 岩井 俊夫)



●『タテ書きはことばの景色をつくる』熊谷高幸 著 (新曜社)

この4月に西乙訓高等学校に赴任した吉村です。皆さんにお会いしないまま、1か月が経ってしまいました。外出自粛のなか、読書の時間を設けてもらうためにも、小説とは違う、一風変わった本を紹介したいと思います。

現在、この図書館だよりをはじめ、目にする多くの文章が「ヨコ書き」になっています。しかし、この本の中で著者はヨコ書きの利点はもちろんのこと、「タテ書き」の良さとして「テキスト全体の姿が見えやすく、行と行とのあいだに対等な関係が生じやすい(行間を読むのに適する)」と述べています。本の表紙には菜の花畑の写真が使用されていますが、山村暮鳥の「風景」という詩を引用し、タテ書きにすることによってたくさんの菜の花がすっと立ち、菜の花畑の景色がイメージしやすいようになっているのではないのでしょうか。文字で菜の花1本1本を表すことができるのは、タテ書きだからこそなせる技のように思われます。

いまや縦書き文化は、世界の中で日本をはじめ数えるほどしかないと思います。こんなときだからこそ、この本に限らず、タテ書きの書物に多く触れてもらいたいと思います。(国語科 吉村 雅子)



●『エルマーのぼうけん』ルース・スタイルス・ガネット 作 (福音館書店)

これまでになかった事態が次々に起こり、心や体が疲れている人も多いと思います。こんな時には、昔読んだ絵本や児童文学などをもう一度読んでみてはどうでしょうか。こうした本は子ども向けではありますが、理不尽な状況やありえない出来事に直面した登場人物たちがしなやかな心で危機をのりきっていくのを見ることは、私たちが現在の状況を生きていく上で、きっと何かの役に立つはずです。

この本は、主人公の少年・エルマーが、とある島にとらえられている竜の話を聞き、助けに向かうというストーリー。島にはライオンやゴリラ、ワニなど危険な猛獣が何頭もいますが、エルマーが持って行ったものはガムやキャンディー、歯ブラシや虫めがねといったありふれたものばかり。これらをどう使って竜を助け出すのか、エルマー少年の活躍をぜひ読んで確かめてみてください。



●『きょうもバテてます』(朝日新聞出版) ☆

もう1冊は、気楽に眺められる写真集です。毎日がんばるのはなかなか大変。なのでたまには休むことも大事。動物たちが「だら～ん」と休んでいる様子を見てくすりと笑えれば、肩の力も抜けるはず。 (図書館司書 木村 信元)

